

## 長岡市・三島郡「生活科」活動報告

長岡市立上川西小学校 桑原 直哉

### 1 研修テーマ

「子どもの学びを育む生活科の単元構成や支援のあり方はどうあればよいか」

### 2 研修の概要

#### (1) 総会

○ 4月23日 会場 上川西小学校

- ・ 研修テーマを決定すると共に、昨年度の栃尾南小学校での提案授業、協議、情報交換の内容についてまとめた資料を配付し、本年度実践に生かせるようにした。

#### (2) 授業研修会・講演会

○ 11月29日 会場 栖吉小学校

○ 栖吉小学校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表会共催

○ 公開授業

1年生 『つくってあそぼう！みんなであそぼう！うきうきわくわくレインボーランド』

- ・ 本単元では、レインボーランドでの活動を中心に、四季の変化に気付いたり、自分たちで遊びを工夫したりしていく。前半は「お花畑があるといいな。」「池を作って生き物を飼いたい。」「みんなで水遊びをしたい。」など、児童から出た願いをもとに、みんなで話し合いながら協力して活動を進めていく。

前半での経験を生かしながら、本単元の後半は「みんなで遊ぼう」「遊び場を作ろう」を大きな柱として、自由な発想や願い、試行錯誤を繰り返す姿を大切にして活動を進めていく。

2年生 『みんなあつまれ！まつりだワッショイ！～「チャレンジ秋やさいまつりをしよう！」～』

- ・ 本活動は、秋野菜の収穫の喜びをもとに、たくさんの人と一緒に楽しむことができる「チャレンジ秋やさいまつりを」をつくる活動である。児童は、自分たちが収穫したさつまいもの料理を作り、そのおいしさに感動しながら、収穫の喜びをたくさんの人と共に味わいたいという願いをもっている。そして、今までのまつりのように、たくさんのお客さんを集めて、みんなで盛り上がるまつりを成功させたいという思いも高まっている。まつりは誰に来てほしいのか、どんなまつりの内容にしたいのか、まつりを盛り上げるにはどんな工夫ををするのか、日時や場所はどのようにするのかなど、自分たちでまつりをつくっていく過程を大切にする。

○ 講演会 講師：上越教育大学准教授 松井千鶴子 様

「生活科・総合的な学習の質的充実と教師の役割」

- ・ 生活科の実践者に求められる教師力      カリキュラム開発力 授業力 評価力  
自分の思いや願いをもとに試行錯誤しながら活動に浸る場の設定  
自分の考えや思いに気付くために書く活動の継続  
満足感や新たな考えにつなげる交流の場面の工夫
- ・ 生活科の質的充実      教育課程レベル 年間・単元計画レベル 1校時レベル
- ・ 学び続ける教員像      生活科には学び続ける教員を生み出す仕組みがある。
- ・ 探求的な学習のとらえ方は経験を積むことによって変化する  
指導開始当初 指導開始7年 指導開始11年後の変化